

令和7年度

本科学生募集要項

(選抜日程表)

特別選抜		
〔地域創生型〕	願書受付期間	出願情報入力期間 令和6年11月25日(月)～12月13日(金) 出願書類提出期間 令和6年12月9日(月)～12月13日(金)
	試験日	令和6年12月21日(土)
	合格発表日	令和7年1月16日(木) 適性検査免除(合格内定)の可否は令和6年12月24日(火)に通知
〔一般推薦型〕	願書受付期間	出願情報入力期間 令和6年12月2日(月)～12月20日(金) 出願書類提出期間 令和6年12月16日(月)～12月20日(金)
	試験日	令和7年1月11日(土)
	合格発表日	令和7年1月16日(木)
学力検査選抜 帰国生徒特別選抜	願書受付期間	出願情報入力期間 令和7年1月6日(月)～1月24日(金) 出願書類提出期間 令和7年1月20日(月)～1月24日(金)
	試験日	令和7年2月9日(日)
	合格発表日	令和7年2月13日(木)

※ 新型コロナウイルス等の感染症等を理由として、各選抜の本試験を受験できなかった場合の追試験は、各選抜の試験日の2週間後に実施します。地域創生型の追試験は3週間後となります。

※ 出願についてWEBで手続きが必要になります。出願情報入力はWEBで行ってください。



独立行政法人国立高等専門学校機構

舞鶴工業高等専門学校

〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地
電話 (0773) 62-8881 FAX (0773) 62-8889

目次

舞鶴工業高等専門学校の三つのポリシー

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
2. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	2
3. ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）	4

令和7年度 本科学生募集要項

募集学科・募集人員・選抜方法	7
WEB出願の流れ	8

特別選抜

1. 地域創生型	9
1.1 出願資格	9
1.2 出願受付	9
1.3 出願手続	9
1.4 出願時の注意事項	10
1.5 障害等のある志願者の事前相談	10
1.6 受験票	10
1.7 入学者選抜方法	11
1.8 適性検査免除（合格内定）者への通知	11
1.9 適性検査免除（合格内定）とならなかった場合の取り扱い	11
2. 一般推薦型	12
2.1 出願資格	12
2.2 出願受付	12
2.3 出願手続	12
2.4 出願時の注意事項	12
2.5 障害等のある志願者の事前相談	12
2.6 受験票	12
2.7 入学者選抜方法	13
3. 合格者発表	13
4. 特別選抜で合格とならなかった場合の取り扱い	13
5. 入学説明会	14
6. その他	14

学力検査選抜

1. 出願資格	15
2. 出願受付	15
3. 出願手続	15

4. 出願時の注意事項	16
5. 障害等のある志願者の事前相談	16
6. 受験票	16
7. 入学者選抜方法	16
8. 合格者発表	17
9. 入学確約	17
10. 入学説明会	18
11. 追加合格	18
12. 提携高専による追選考制度	18
13. 入試成績の開示請求	20
14. その他	20
15. 学力検査選抜受験会場の案内図	21

帰国生徒特別選抜

1. 出願資格	22
2. 出願受付	22
3. 出願手続	22
4. 出願時の注意事項	23
5. 障害等のある志願者の事前相談	23
6. 受験票	23
7. 入学者選抜方法	24
8. 合格者発表	24
9. 入学確約	24
10. 入学説明会	24
11. その他	24

令和7年度入学者選抜における配慮事項等について

1. 調査書等	26
2. 追試験	26

舞鶴工業高等専門学校 入学案内

1. 沿革概要	27
2. 教育理念と目的, 教育方針	27
3. 学科の紹介	28
4. 修業年限及び授業	29
5. 課外活動	29
6. 学寮	29
7. 施設概要	29
8. 必要経費	30
9. 入学料・授業料の免除及び奨学金制度について	30

舞鶴工業高等専門学校の三つのポリシー

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

本校では、工学の基礎と教養を身につけ、活動力、創造力、国際感覚豊かな実践的開発型技術者の育成に努めています。そのため、次のような人の入学を期待しています。

- (1) 「ものづくり」を通して、自立した人間を目指す人
- (2) 自ら学ぼうとする姿勢を持ち、本校入学までに教育機関で学習する内容を十分理解している人
- (3) 社会のルールを守って、いろいろな人と協調していける人

また、各学科が求める適性は以下のとおりです。

■ 機械工学科

機械工学科では、理論と現象を正確に理解し、いろいろな事態に的確に判断でき、それを実行できる行動力を持った技術者の育成を目指しています。機械工学は、あらゆる「ものづくり」の基礎をなす学問であるからです。本学科では、次のような人の入学を期待しています。

- 「ものづくり」が好きな人、関心がある人
- 「自動車」、「ロボット」や動くものが好きな人、関心がある人
- 将来、機械の開発、設計、製造、保守等の分野で世の中の役に立ちたい人

■ 電気情報工学科

電気情報工学科では、将来に渡って「発想の泉」となる工学基礎科目の上に立ち、電気・電子系及び情報系科目の幅広い分野を勉強します。本学科では、次のような人の入学を期待しています。

- 電気・電子、情報・通信分野に関心がある人
- ハードウェア、ソフトウェアなどの「ものづくり」ができるようになりたい人
- 「自分の志」を抱いて、基礎科目を継続的に学習できる人

■ 電子制御工学科

電子制御工学科では、メカトロニクス技術者の育成を目指し、機械系、電子・電気系、制御・計測系及び情報系の幅広い分野を勉強します。本学科では、次のような人の入学を期待しています。

- ロボットの設計製作や制御応用に関心のある人
- 電子回路やマイコンを使ったものづくりをしたい人
- コンピュータや「もののしくみ」に興味を持ち、好奇心旺盛な人

■ 建設システム工学科

建設システム工学科では、21世紀の住みよい社会を創ることを目的として、その計画、運営、維持を行うことのできる素養を身につけるための勉強をします。本学科では、次のような人の入学を期待しています。

- 自然環境と調和した街づくりに熱意を持っている人
- 災害に強く、安全な社会づくりに興味を持っている人
- 建設技術に関する知識を修得し、地域社会の発展や国際貢献に関わりたい人

本校では、上記の人の入学が実現できるよう次の基本方針で入学者選抜を行います。

〈本科特別選抜〉

中学校等を卒業見込みで、かつ学業・人物とも優秀であることにより校長から推薦を受けた入学意志が強固な者に対して、以下の結果を総合的に評価し、選抜します。

〔地域創生型〕

調査書，一般面接，地域面接

〔一般推薦型〕

調査書，適性検査，一般面接

〈本科学力検査選抜〉

中学校等を卒業した者（卒業見込みの者を含む）に対して、調査書，学力検査の結果を総合的に評価し、選抜します。

〈本科帰国生徒特別選抜〉

中学校等に相当する課程に外国で2年以上在籍し、かつ一定の条件を満たす者に対して、調査書，学力検査，作文，面接の結果を総合的に評価し、選抜します。

2. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

準学士課程では、各学科のディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために、次のような「教育課程の編成・実施方針」，および「成績評価方法と評価基準」に基づいて教育を実施します。

【教育課程の編成・実施方針】

人文科学や自然科学などを学ぶ学科共通の「一般科目」に対して、工学の専門分野を学ぶ学科ごとの「専門科目」をくさび型に配置し、以下のような科目群を設定して教育課程を編成し実施します。

「一般科目」

- (1) 基礎的な数学と自然科学を修得し、専門分野に応用する力を育成するための科目群（基礎数学，物理，化学，ライフ&アースサイエンスなど）
- (2) 人文・社会科学の一般知識を修得して広い視野を持ち、技術者としての倫理を身につけ、異文化を理解し、交流する力を育成するための科目群（総合英語，総合国語，歴史総合，公共，哲学，法学など）
- (3) 地域，社会等の問題解決のために他者と協働して取り組む力を育成するための科目群（保健体育など）

「専門科目」

■ 機械工学科

- (1) 応用的な数学と自然科学の知識を修得し、専門分野に応用する力を育成するための科目群（応用物理，応用数学）
- (2) 専門分野の基礎を修得し、専門的な問題の解決に活用できる能力を育成するための科目群
 - (2-m1) 材料力学分野（材料力学，材料加工学など）
 - (2-m2) 流体力学分野（水力学，流体工学など）
 - (2-m3) 熱力学分野（工業熱力学，伝熱工学など）
 - (2-m4) 機械力学分野（機械力学など）
 - (2-m5) 設計分野（情報処理，機械設計法，材料学など）
- (3) 専門的な実験を遂行・分析することができ、修得した実践技術をものづくりに活用できる能

- 力を育成するための科目群（機械工学実験，工作実習，設計製図，ものづくり演習など）
- (4) 地域，社会等の問題解決のために他者と協働して取り組み，修得した専門分野の知識・技術を融合して創造し，その成果を発表できる能力を育成するための科目群（創造設計製作，卒業研究など）

■ 電気情報工学科

- (1) 応用的な数学と自然科学の知識を修得し，専門分野に応用する力を育成するための科目群（応用物理，応用数学）
- (2) 専門分野の基礎を修得し，専門的な問題の解決に活用できる能力を育成するための科目群
- (2-e1) 電気分野（電気基礎，電気回路，交流回路，制御工学など）
 - (2-e2) 電子分野（アナログ回路，電磁気学，電子工学など）
 - (2-e3) 情報分野（情報基礎，C言語，情報理論，オペレーティングシステムなど）
 - (2-e4) 通信分野（アナログ信号処理，デジタル信号処理，ネットワーク論など）
- (3) 専門的な実験を遂行・分析することができ，修得した実践技術をものづくりに活用できる能力を育成するための科目群（回路実習，プログラミング実習，電気情報工学実験など）
- (4) 地域，社会等の問題解決のために他者と協働して取り組み，修得した専門分野の知識・技術を融合して創造し，その成果を発表できる能力を育成するための科目群（創造工学，工学基礎研究，卒業研究など）

■ 電子制御工学科

- (1) 応用的な数学と自然科学の知識を修得し，専門分野に応用する力を育成するための科目群（応用物理，応用数学）
- (2) 専門分野の基礎を修得し，専門的な問題の解決に活用できる能力を育成するための科目群
- (2-s1) 電気電子分野（電気基礎，電子工学など）
 - (2-s2) 機械分野（水力学，熱力学，材料力学など）
 - (2-s3) 計測制御分野（制御工学，ロボティクス，計測工学など）
 - (2-s4) 情報分野（プログラミング，数値計算法など）
- (3) 専門的な実験を遂行・分析することができ，修得した実践技術をものづくりに活用できる能力を育成するための科目群（メカトロニクス演習，電子制御実習，CAD演習，電子制御実験など）
- (4) 地域，社会等の問題解決のために他者と協働して取り組み，修得した専門分野の知識・技術を融合して創造し，その成果を発表できる能力を育成するための科目群（創造設計プロジェクト，卒業研究など）

■ 建設システム工学科

- (1) 応用的な数学と自然科学の知識を修得し，専門分野に応用する力を育成するための科目群（応用物理，応用数学）
- (2) 専門分野の基礎を修得し，専門的な問題の解決に活用できる能力を育成するための科目群〔都市環境コース〕
- (2-c1) 構造分野（構造力学，建設材料学，鋼構造学，耐震工学など）
 - (2-c2) 水工分野（水理学，河川工学，海岸工学など）
 - (2-c3) 地盤分野（地盤工学，土木施工，地盤防災工学など）
 - (2-c4) 計画分野（測量学，土木計画，土木施工など）

(2-c5) 環境分野（環境工学，環境衛生学など）

〔建築コース〕

(2-a1) 建築構造分野（構造力学，建設材料学，鋼構造学，建築構造，耐震工学など）

(2-a2) 建築環境分野（建築環境，建築設備など）

(2-a3) 建築計画分野（建築計画，建築論，建築法規など）

(2-a4) 設計・製図分野（建設製図，建築デザインなど）

(3) 専門的な実験を遂行・分析することができ，修得した実践技術をもものづくりに活用できる能力を育成するための科目群（測量実習，建設システム工学実験，情報処理など）

(4) 地域，社会等の問題解決のために他者と協働して取り組み，修得した専門分野の知識・技術を融合して創造し，その成果を発表できる能力を育成するための科目群（建設製図制作，建設設計製図，卒業研究・卒業設計など）

【成績評価方法と評価基準】

評価方法と評価基準は，以下に示すとおりです。

(1) 講義科目においては，科目ごとに到達目標を設定し，平常の取り組み（演習，宿題，レポートなど）と定期試験の結果を総合的に勘案し，到達目標に対する到達度を評価します。到達度と評価基準は以下の表のとおりです。

到達度と評価基準

評価	到達目標に対する到達度 (%)	内容	合否
A+	90 ~ 100	期待した能力が優れて身についている。	合格
A	80 ~ 89	期待した能力が十分身についている。	
B	70 ~ 79	期待した能力が身についている。	
C	60 ~ 69	期待した能力が概ね身についている。	
F	60%未満	期待した能力が身についていない。	不合格

(2) 実技・実験・実習・演習などの実践科目においては，課題の取り組み状況，レポート，発表などを総合的に勘案し，設定された到達目標に対する到達度を評価します。

(3) 卒業研究（本科）及び特別研究（専攻科）においては，研究成果，研究発表，質疑応答，取り組み姿勢，論文などを総合的に勘案し，設定された到達目標に対する到達度を評価し，60%以上の到達度をもって合格とします。

(4) 卒業設計（建設システム工学科）においては，発表の内容，質疑応答，取り組み姿勢，論文などを総合的に勘案し，設定された到達目標に対する到達度を評価し，60%以上の到達度をもって合格とします。

3. ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）

■ 機械工学科

機械工学科では，本校準学士課程の目的に基づき，自らが継続的に学習することで，以下の目標を達成し，卒業の認定に関する規程に定める基準を満たした学生に卒業を認定します。

(i) 数学と自然科学を修得し，専門分野に応用することができる。

(ii) 専門分野の基礎を修得し，専門的な問題を解決するために活用できる。

(iii) 専門的な実験を遂行・分析することができ，実習・演習により修得した実践技術をもものづく

りに活用できる。

- (iv) 修得した人文・社会科学の一般知識により広い視野を持ち、技術者として倫理的に行動し、異文化理解・交流を行うことができる。
- (v) 地域、社会等の問題解決のために他者と協働し、修得した専門分野の知識・技術を融合して創造することができる。また、その成果を発表することができる。

なお、(ii)における専門分野は以下のとおりです。

- (ii -m1) 材料力学分野
- (ii -m2) 流体力学分野
- (ii -m3) 熱力学分野
- (ii -m4) 機械力学分野
- (ii -m5) 設計分野

■ 電気情報工学科

電気情報工学科では、本校準学士課程の目的に基づき、自らが継続的に学習することで、以下の目標を達成し、卒業の認定に関する規程に定める基準を満たした学生に卒業を認定します。

- (i) 数学と自然科学を修得し、専門分野に応用することができる。
- (ii) 専門分野の基礎を修得し、専門的な問題を解決するために活用できる。
- (iii) 専門的な実験を遂行・分析することができ、実習・演習により修得した実践技術をものづくりに活用できる。
- (iv) 修得した人文・社会科学の一般知識により広い視野を持ち、技術者として倫理的に行動し、異文化理解・交流を行うことができる。
- (v) 地域、社会等の問題解決のために他者と協働し、修得した専門分野の知識・技術を融合して創造することができる。また、その成果を発表することができる。

なお、(ii)における専門分野は以下のとおりです。

- (ii -e1) 電気分野
- (ii -e2) 電子分野
- (ii -e3) 情報分野
- (ii -e4) 通信分野

■ 電子制御工学科

電子制御工学科では、本校準学士課程の目的に基づき、自らが継続的に学習することで、以下の目標を達成し、卒業の認定に関する規程に定める基準を満たした学生に卒業を認定します。

- (i) 数学と自然科学を修得し、専門分野に応用することができる。
- (ii) 専門分野の基礎を修得し、専門的な問題を解決するために活用できる。
- (iii) 専門的な実験を遂行・分析することができ、実習・演習により修得した実践技術をものづくりに活用できる。
- (iv) 修得した人文・社会科学の一般知識により広い視野を持ち、技術者として倫理的に行動し、異文化理解・交流を行うことができる。
- (v) 地域、社会等の問題解決のために他者と協働し、修得した専門分野の知識・技術を融合して創造することができる。また、その成果を発表することができる。

なお、(ii)における専門分野は以下のとおりです。

- (ii -s1) 電気電子分野
- (ii -s2) 機械分野

(ii -s3) 計測制御分野

(ii -s4) 情報分野

■ 建設システム工学科

建設システム工学科では、本校準学士課程の目的に基づき、自らが継続的に学習することで、以下の目標を達成し、卒業の認定に関する規程に定める基準を満たした学生に卒業を認定します。

(i) 数学と自然科学を修得し、専門分野に応用することができる。

(ii) 専門分野の基礎を修得し、専門的な問題を解決するために活用できる。

(iii) 専門的な実験を遂行・分析することができ、実習・演習により修得した実践技術をものづくりに活用できる。

(iv) 修得した人文・社会科学の一般知識により広い視野を持ち、技術者として倫理的に行動し、異文化理解・交流を行うことができる。

(v) 地域、社会等の問題解決のために他者と協働し、修得した専門分野の知識・技術を融合して創造することができる。また、その成果を発表することができる。

なお、(ii)における専門分野は以下のとおりです。

● 都市環境コース

(ii -c1) 構造分野

(ii -c2) 水工分野

(ii -c3) 地盤分野

(ii -c4) 計画分野

(ii -c5) 環境分野

● 建築コース

(ii -a1) 建築構造分野

(ii -a2) 建築環境分野

(ii -a3) 建築計画分野

(ii -a4) 設計・製図分野

令和7年度 本科学学生募集要項

募集学科, 募集人員

募集学科	入学定員	募集人員
機械工学科	40名	各学科とも特別選抜（地域創生型, 一般推薦型）は入学定員の70%程度, 学力検査選抜（帰国生徒特別選抜含む）は入学定員の30%程度とします。
電気情報工学科	40名	
電子制御工学科	40名	
建設システム工学科	40名	
計	160名	

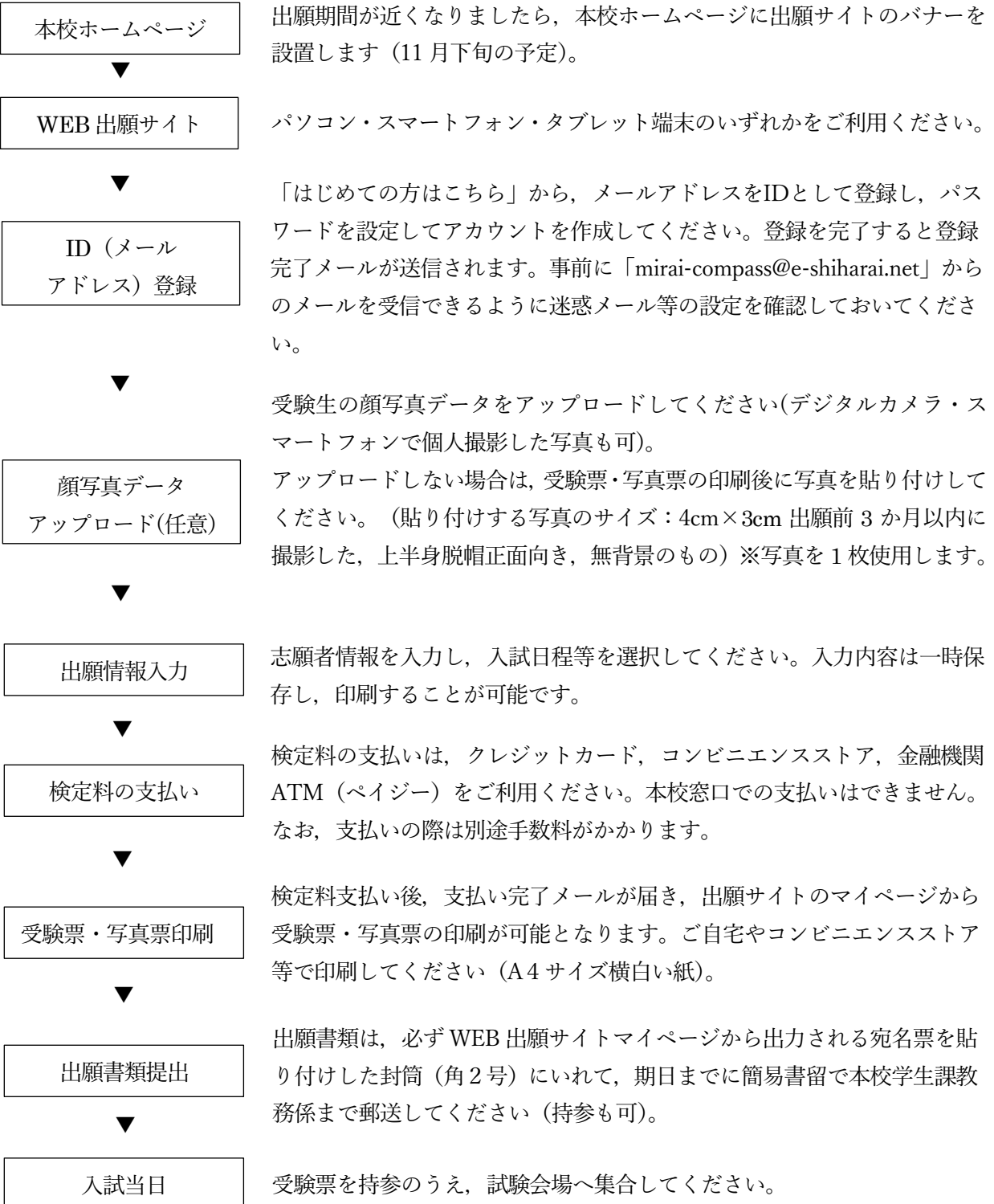
選抜方法

入学者の選抜は、「特別選抜」, 「学力検査選抜」及び「帰国生徒特別選抜」の3つの方法で行います。

WEB出願の流れ

すべての選抜でWEB出願を行います。パソコン、スマートフォン、タブレット端末から出願サイトにアクセスし、志願者情報の入力・検定料の支払い方法の選択等をWEB上で行った後、写真票・個人調査書等の必要書類の到着をもって出願完了となります。手続きの流れは以下のとおりです。

《手続きの流れ》



特 別 選 抜

「特別選抜」は〔地域創生型〕と〔一般推薦型〕の2種類があります。〔地域創生型〕と〔一般推薦型〕は出願資格や受験日が異なります。

1. 地域創生型

1.1 出願資格

人物が優秀で、次の(1)～(4)のすべての条件を満たし、在籍する中学校等の校長の推薦を受けた者

- (1) 中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程又は文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程（以下、「中学校等」という。）を令和7年3月までに卒業（修了）見込みの者
- (2) 志願学科に関心があり、かつ、学科が求める適性を有するとともに入学意志が強固である者
- (3) 中学校等の第1学年、第2学年及び第3学年（義務教育学校については第7学年、第8学年及び第9学年）の9教科^(注1)の学業成績^(注2)が、5段階評価で**合計108（平均4）以上**である者
- (4) 北近畿およびその周辺地域、あるいは志願者の出身地域に根ざした活動を通じ、将来の地域産業の担い手となる意欲がある者^(注3)

(注1) 9教科とは、「国語」、「社会」、「数学」、「理科」、「音楽」、「美術」、「保健体育」、「技術・家庭」及び「外国語（英語）」を示します。

(注2) 「第3学年もしくは第9学年の学業成績」は、提出可能な最新のものとします。

(注3) 出身地は問いません。

1.2 出願受付

- (1) 出願情報入力期間

令和6年11月25日（月）から12月13日（金）午後4時までです。

- (2) 出願書類提出期間

令和6年12月9日（月）から12月13日（金）までです。郵送の場合も令和6年12月13日（金）までに必着のこと。受付時間は、受付期間中の午前9時から午後4時までです。

- (3) 出願書類受付場所

舞鶴工業高等専門学校 学生課教務係
〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋234番地

1.3 出願手続

出願手続きは、WEB出願サイトにて行う「出願情報入力」と写真票等の必要書類を本校へ提出する「出願書類提出」で完了となります。

- (1) 出願情報入力

本校ホームページからWEB出願サイトへアクセスし、本冊子8ページ「WEB出願の流れ」を参考に、入学検定料16,500円を納付の上、出願してください。

(2) 出願書類提出

志願者は、次の書類をとりまとめ、必ず WEB 出願サイトマイページから出力される宛名票を貼り付けた封筒（角 2 号）に入れて、本校学生課教務係に提出してください。郵送の場合は必ず**簡易書留郵便**としてください。

1	写 真 票	WEB 出願サイトマイページから「受験票・写真票」を印刷し、「写真票」のみ切り離したもの。顔写真データをアップロードしていない場合は、上半身脱帽正面向きで、出願 3 か月以内に撮影した写真（縦 4cm×横 3cm）を貼り付けてください。
2	推 薦 書	本校所定の様式を使用し、在籍する中学校等の校長が作成したもの。
3	調 査 書	本校所定の様式（又は本校所定の様式の内容をすべて網羅した中学校等で作成したものでも構いません。）により、在籍校長が作成したものを、封筒に厳封してください。
4	入学誓約書	本校所定の様式に必要事項を記入してください。

1.4 出願時の注意事項

- (1) 志望学科は、第 1 志望に限ります。ただし、入力にあたっては「**4. 特別選抜で合格とならなかった場合の取り扱い**」（13 ページ）を参考にしてください。
- (2) 出願後は、いかなる事情があっても入力事項の変更は認めません。ただし、現住所に変更があった場合は、その旨を本校学生課教務係まで連絡してください。
- (3) 出願書類の記載事項に不備があるものは、受験を許可しない場合があります。
- (4) 出願書類に不正の記載があったときは、入学後においても入学を取り消すことがあります。
- (5) 受理した出願書類並びに入学検定料は返還しません。ただし、以下の場合は入学検定料の返還請求をすることができますので、本校学生課教務係へお問い合わせください。
 - ・WEB 出願エントリーにて入学検定料を納付したが、出願書類を提出しなかった場合
 - ・入学検定料を重複して納付した場合

1.5 障害等のある志願者の事前相談

受験において合理的配慮を必要とする志願者は、事前に本校学生課教務係に相談してください。なお、内容によっては対応に時間を要することもあるので、出願前の早い時期に申し出てください。

合理的配慮に関する相談及び問い合わせ内容は、合否判定には一切影響ありません。

相談窓口 舞鶴工業高等専門学校学生課教務係
電話番号 0773-62-8881 FAX 0773-62-8889
MAIL kyoumu@maizuru-ct.ac.jp

1.6 受験票

WEB 出願サイトマイページから「受験票・写真票」を印刷し、「写真票」と切り離してください。受験票は試験当日に持参いただきますので、大切に保管してください。

1.7 入学者選抜方法

推薦書、調査書及び面接の結果を総合し、適性検査免除（合格内定）の可否を判定します。

(1) 実施種目及び配点

実施種目	面接		調査書	合計
	一般面接	地域面接		
配点	90	45	270	405

※ 「一般面接」では本校及び志望学科のアドミSSION・ポリシーに適合するかを評価します。

※ 「地域面接」では「地域に根ざした活動」（小中学生を対象とした出前授業、地域に根ざした課題解決型学習・卒業研究・課外活動、インターンシップ等）に対する考えを評価します。

(2) 面接の実施日時：令和6年12月21日（土）

実施種目	面接
実施時間	12:30～

※ 午後0時までに面接控室に集合してください。

(3) 面接会場

舞鶴工業高等専門学校（京都府舞鶴市字白屋 234 番地）

1.8 適性検査免除（合格内定）者への通知

令和6年12月24日（火）午前11時に専用ホームページ上に、受験番号を掲載します。本校の掲示板には適性検査免除（合格内定）者の受験番号は掲載しません。（電話等による問い合わせには応じられません。）特別選抜の合格者発表については、「3. 合格者発表」（13 ページ）を参照してください。

正式には、本人及び中学校等の校長あてに選考結果の通知文書を発送します。

※ 適性検査免除（合格内定）者の受験番号を掲載するホームページの URL は、出願受付後、本人及び中学校等の校長あてに通知します。

1.9 適性検査免除（合格内定）とならなかった場合の取り扱い

特別選抜〔地域創生型〕で適性検査免除（合格内定）とならなかった場合、その時点で自動的に特別選抜〔一般推薦型〕の出願者となりますので、令和7年1月11日（土）に特別選抜〔一般推薦型〕の適性検査を受験してください。（「2. 一般推薦型」の「2.7 入学者選抜方法」（13 ページ）を参照してください。）

なお、特別選抜〔一般推薦型〕の一般面接の評価は、特別選抜〔地域創生型〕で実施した一般面接の結果を利用しますので、特別選抜〔一般推薦型〕の試験日に一般面接は実施しません。

2. 一般推薦型

2.1 出願資格

人物が優秀で、次の(1)～(3)のすべての条件を満たし、在籍する中学校等の校長の推薦を受けた者

- (1) 中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程又は文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程（以下、「中学校等」という。）を令和7年3月までに卒業（修了）見込みの者
- (2) 志願学科に関心があり、かつ、学科が求める適性を有するとともに入学意志が強固である者
- (3) 中学校等の第1学年、第2学年及び第3学年（義務教育学校については第7学年、第8学年及び第9学年）の9教科^(注1)の**学業成績**^(注2)が**優秀**である者

(注1) 9教科とは、「国語」、「社会」、「数学」、「理科」、「音楽」、「美術」、「保健体育」、「技術・家庭」及び「外国語（英語）」を示します。

(注2) 「第3学年もしくは第9学年の学業成績」は、提出可能な最新のものとします。

2.2 出願受付

- (1) 出願情報入力期間

令和6年12月2日（月）から12月20日（金）午後4時までです。

- (2) 出願書類提出期間

令和6年12月16日（月）から12月20日（金）までです。郵送の場合も令和6年12月20日（金）までに必着のこと。受付時間は、受付期間中の午前9時から午後4時までです。

- (3) 出願書類受付場所

舞鶴工業高等専門学校 学生課教務係
〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地

2.3 出願手続

「1.3 出願手続き」（9 ページ）に同じ

2.4 出願時の注意事項

「1.4 出願時の注意事項」（10 ページ）に同じ

2.5 障害等のある志願者の事前相談

「1.5 障害等のある志願者の事前相談」（10 ページ）に同じ

2.6 受験票

WEB 出願サイトマイページから「受験票・写真票」を印刷し、「写真票」と切り離してください。受験票は試験当日に持参いただきますので、大切に保管してください。

2.7 入学者選抜方法

推薦書，調査書，適性検査及び一般面接の結果を総合し，可否を判定します。

(1) 実施種目及び配点

実施種目	適性検査	一般面接	調査書	合計
配点	90	90	270	450

※ 適性検査は筆答試験（マークシート方式ではありません）とし，出題する教科は**理科・英語・数学**の3教科です。

※ 「一般面接」では本校及び志望学科のアドミッション・ポリシーに適合するかを評価します。

(2) 適性検査及び面接の実施日時：令和7年1月11日（土）

実施種目	適性検査			一般面接
	理科	英語	数学	
実施時間	10:50～11:00	11:10～11:20	11:30～11:40	12:30～

※ 午前10時20分までに検査室に集合してください。

※ 〔地域創生型〕で適性検査免除（合格内定）とならなかった者は，適性検査のみを受験します。

(3) 適性検査及び面接の会場

舞鶴工業高等専門学校（京都府舞鶴市字白屋 234 番地）

3. 合格者発表

令和7年1月16日（木）午前10時に本校の掲示板に，〔地域創生型〕と〔一般推薦型〕をあわせた特別選抜の合格者の受験番号を発表するとともに，午前11時に本校ホームページ（<https://www.maizuru-ct.ac.jp>）にも掲載します。（電話等による問い合わせには応じられません。）

正式には，本人及び中学校等の校長あてに選考結果の通知文書を発送します。

4. 特別選抜で合格とならなかった場合の取り扱い

特別選抜の可否判定の結果，合格とならなかった場合であっても，特別選抜の出願情報入力時に以下の事項を選択することで，あらためて出願手続を行わずに，学力検査選抜又は帰国生徒特別選抜のいずれかを受験することができます。

【学力検査選抜の受験を希望する場合】

- 「特別選抜志願者で合格とならなかった場合の学力検査選抜受験希望」欄の「希望する」を選択するとともに，学力検査選抜において受験を希望する学力検査試験会場も併せて選択してください。
- 特別選抜は第1志望のみで可否判定を行います，学力検査選抜では第3志望までを考慮のうえ可否判定を行いますので，学力検査選抜の受験を希望する者で第2志望又は第3志望がある場合は，必ず第2志望又は第3志望を選択し，**第2志望又は第3志望がない場合は，「第2志望」，「第3志望」欄で「なし」を選択してください。**

【帰国生徒特別選抜の受験を希望する場合】

- 「特別選抜志願者で合格とならなかった場合の帰国生徒特別選抜受験希望」欄の「希望する」を選択してください。

●令和6年11月29日（金）までに必ず学生課教務係まで照会してください。

●帰国生徒特別選抜は舞鶴会場で行います。また、帰国生徒特別選抜は第1志望のみで合否判定を行います。

なお、学力検査選抜及び帰国生徒特別選抜の受験を希望しない場合は、特別選抜の出願情報入力時に「特別選抜志願者で合格とならなかった場合の学力検査選抜受験希望」欄及び「特別選抜志願者で合格とならなかった場合の帰国生徒特別選抜受験希望」の「希望しない」を選択してください。

5. 入学説明会

合格者に対して令和7年3月2日（日）に入学説明会及び入学手続きを行います。詳細については、合格通知書を発送する際にお知らせします。やむを得ない事情がある場合を除き、本人及び保護者の方は必ず出席してください。

6. その他

(1) 受験に際しての注意事項は、WEB出願サイト登録時のメールアドレス宛にメールにてお送りしますので、必ず確認をしておいてください。事前に「mirai-compass@e-shiharai.net」からのメールを受信できるように迷惑メール等の設定を確認しておいてください。以下の日を過ぎてもメールが届かない場合は、本校学生課教務係に問い合わせてください。

・地域創生型出願者…令和6年12月17日（火）

・一般推薦型出願者…令和6年12月25日（水）

12月28日～1月5日は冬季一斉休業ですので、問い合わせを受け付けることができません。

(2) 出願のため入力された情報、提出された調査書等に記載されている情報及び入学者選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

① 入学後の教育・指導 ② 入学料・授業料の免除申請審査 ③ 奨学金申請の審査

④ 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

⑤ 本校の後援会・同窓会活動

(3) 受験のための宿泊施設は、各自で確保してください。

(4) 不明な点については、本校学生課教務係に問い合わせてください。

(5) 学校案内については、ホームページ (<https://www.maizuru-ct.ac.jp>) を参照してください。

学 力 検 査 選 抜

1. 出願資格

次の (1)~(4) のいずれかの条件を満たす者

- (1) 中学校を卒業した者（令和7年3月までに卒業見込みの者を含む。）
 - (2) 義務教育学校の後期課程を卒業した者（令和7年3月までに卒業見込みの者を含む。）
 - (3) 中等教育学校の前期課程を修了した者（令和7年3月までに修了見込みの者を含む。）
 - (4) 中学校卒業者と同等以上の学力があると認められた者（学校教育法施行規則第95条参照）
- ※ 以下、「中学校等」という

2. 出願受付

- (1) 出願情報入力期間

令和7年1月6日（月）から1月24日（金）午後4時までです。

- (2) 出願書類提出期間

令和7年1月20日（月）から1月24日（金）までです。郵送の場合も令和7年1月24日（金）までに必着のこと。受付時間は、受付期間中の午前9時から午後4時までです。

- (3) 出願書類受付場所

舞鶴工業高等専門学校 学生課教務係
〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地

3. 出願手続

出願手続きは、出願サイトにて行う「出願情報入力」と写真票等の必要書類を本校へ提出する「出願書類提出」で完了となります。

- (1) 出願情報入力

本校ホームページから WEB 出願サイトへアクセスし、本冊子 8 ページ「WEB 出願の流れ」を参考に、入学検定料 16,500 円を納付の上、出願してください。

- (2) 出願書類提出

志願者は、次の書類をとりまとめ、必ず WEB 出願サイトマイページから出力される宛名票を貼り付けた封筒（角2号）に入れて、本校学生課教務係に提出してください。郵送の場合は必ず簡易書留郵便としてください。

1	写 真 票	WEB 出願サイトマイページから「受験票・写真票」を印刷し、「写真票」のみ切り離したもの。顔写真データをアップロードしていない場合は、上半身脱帽正面向きで、出願3か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm）を貼り付けしてください。
2	調 査 書	本校所定の様式（又は本校所定の様式の内容をすべて網羅した中学校等で作成したものでも構いません。）により、在籍校長が作成したものを、封筒に厳封してください。

4. 出願時の注意事項

- (1) 志望学科を第3志望まで選択することができますので、「第1志望」だけでなく「第2志望」、「第3志望」の欄も選択してください。ただし、**第2志望又は第3志望がない場合は、「第2志望」、「第3志望」欄で「なし」を選択してください。**
- (2) 学力検査選抜は、舞鶴会場以外の会場で受験することができます。「学力検査選抜試験会場」の希望会場を選択してください。
- (3) 出願後は、いかなる事情があっても入力事項の変更は認めません。ただし、現住所に変更があった場合は、その旨を本校学生課教務係まで連絡してください。
- (4) 出願書類の記載事項に不備があるものは、受験を許可しない場合があります。
- (5) 出願書類に不正の記載があったときは、入学後においても入学を取り消すことがあります。
- (6) 受理した出願書類並びに入学検定料は返還しません。ただし、以下の場合は入学検定料の返還請求をすることができますので、本校学生課教務係へお問い合わせください。
 - ・WEB出願エントリーにて入学検定料を納付したが、出願書類を提出しなかった場合
 - ・入学検定料を重複して納付した場合

5. 障害等のある志願者の事前相談

受験において合理的配慮を必要とする志願者は、事前に本校学生課教務係に相談してください。なお、内容によっては対応に時間を要することもあるので、出願前の早い時期に申し出てください。

合理的配慮に関する相談及び問い合わせ内容は、合否判定には一切影響ありません。

相談窓口 舞鶴工業高等専門学校学生課教務係
電話番号 0773-62-8881 FAX 0773-62-8889
MAIL kyoumu@maizuru-ct.ac.jp

6. 受験票

WEB出願サイトマイページから「受験票・写真票」を印刷し、「写真票」と切り離してください。受験票は試験当日に持参いただきますので、大切に保管してください。

7. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、調査書（出願資格（4）に該当する者は履修証明書又は成績証明書）及び学力検査の結果を総合して行います。

(1) 学力検査出題教科及び配点

学力検査は筆答試験（マークシート方式）とし、出題する教科は**理科・英語・数学・国語及び社会**の5教科です。

教科等	理科	英語	数学	国語	社会	調査書	合計
配点	100	150	150	100	100	400	1,000

(2) 実施日時：令和7年2月9日（日）

教科等	理科	英語	数学	国語	社会
実施時間	9:30～10:20	10:40～11:30	11:50～12:40	13:30～14:20	14:40～15:30

※ 午前9時までに検査室に集合してください。

(3) 受験会場

舞鶴会場	舞鶴工業高等専門学校（京都府舞鶴市字白屋 234 番地）
京都会場	京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス（京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 番地）
大阪会場	大阪教育大学 天王寺キャンパス（大阪府大阪市天王寺区南河堀町 4-88）

※「学力検査選抜」における最寄り地等受験制度について

国立高等専門学校機構では、「学力検査選抜」において、出願する高専に関係なく、全国にある 51 の国立高等専門学校とその他設置している会場のどこでも受験が可能な『最寄り地等受験制度』を導入しています。志願者は本校が設置する会場以外に、機構ホームページの『入学者選抜学力検査会場一覧』から、受験したい会場を希望することができます。

ただし、会場収容人数等の都合で必ずしも希望に添えないこともありますので、希望する志願者は、本校まで、必ず事前の相談をお願いします。（下記に記載している本校の「主たる受験会場」は、事前相談は不要です）。

【事前相談問い合わせ先】

窓 口：舞鶴工業高等専門学校学生課教務係

電 話：(0773)62-8881

相談期間：令和 6 年 11 月 1 日（金）～令和 7 年 1 月 23 日（木）

最寄り地等受験制度 会場一覧掲載先（機構ホームページ）

： <https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/moyori.html>

本校の「主たる受験会場」：舞鶴会場，京都会場，大阪会場

※希望する会場の受入可否については、令和 7 年 1 月 28 日（火）までにお知らせします。

※「特別選抜」，「帰国生徒特別選抜」は、本制度の対象外です。

※事前相談期間締切後については、やむを得ない場合を除き、原則、受け付けません。



（機構ホームページ）

最寄り地等受験制度の利用を希望する場合は、出願情報入力において、受験地選択時に「最寄り地等」を選択し、機構ホームページの「会場一覧」を参照して入学願書や受験票・写真票に、事前相談の結果受け入れ可となった会場の「会場番号、会場略称」を記載してください。

【記載例：26 舞鶴高専】

8. 合格者発表

令和 7 年 2 月 13 日（木）午前 10 時に本校の掲示板に合格者の受験番号を発表するとともに、午前 11 時に本校ホームページ (<https://www.maizuru-ct.ac.jp>) にも掲載します。（電話等による問い合わせには応じられません。）

正式には、本人あてに選考結果の通知文書を発送します。

9. 入学確約

合格通知を受け、本校への入学を希望する場合は、本校が指定する日までに、WEB で入学確約の入力を行ってください。

期限までに WEB での入力が未入力の者は、入学の意志がないものとみなし、合格を取り消します。

※入学確約の WEB 入力期限については、令和 6 年 9 月頃に本校ホームページ (<https://www.maizuru-ct.ac.jp>) にてお知らせします。

10. 入学説明会

合格者に対して**令和 7 年 3 月 2 日 (日)**に入学説明会及び入学手続きを行います。詳細については、合格通知書を発送する際にお知らせします。やむを得ない事情がある場合を除き、本人及び保護者の方は必ず出席してください。

11. 追加合格

入学定員に満たない学科がある場合、学力検査選抜で合格とならなかった者に対して、該当学科の追加合格を行うことがあります。この場合、入学確約の締切日以降、入学願書に入力されている出身中学校等へ電話により連絡するとともに、志願者に電話により連絡します。

なお、入学手続きについては、追加合格の連絡の際にあわせてお知らせします。

また、追試験の実施等により、上記の期日を変更する場合があります。その場合には、可能な限り速やかに本校ホームページでお知らせしますので、最新の情報を確認するようにしてください。

12. 提携高専による追選考制度

【制度の概要】

「提携高専による追選考制度」とは、本校と提携する高等専門学校（以下「提携高専」という。）において、入学定員に欠員が生じた学科がある場合、本校の学力検査選抜で合格とならなかった者を対象として追選考を行う制度です。

この制度では、高専への入学を強く希望する受験生が、新たに試験を受けることなく、申し込み手続きを行うことにより、提携高専において追選考を受けることができます。

追選考を希望する場合には、学力検査選抜の結果及び出願時に本校に提出された調査書を含む個人情報提携高専に提供し、当該高専のアドミッションポリシーに基づき評価を行います。

この制度により学生募集を行う場合は、本校及び提携高専のホームページにてお知らせします。

(1) 提携高専

本校と提携する高等専門学校は以下のとおりです。

明石工業高等専門学校、奈良工業高等専門学校、和歌山工業高等専門学校

(2) 申し込み手続き

提携高専における追選考を希望する場合は、本校及び提携高専ホームページに記載する案内にしたがって、所定の期間内に申し込み手続きを行ってください。(WEB 出願サイトでは案内せず提携高専ホームページで別途案内します。)

なお、追選考が複数校で実施される場合、追選考での申し込みが可能なのは 1 高専のみとなります。

(3) 選考の方法等

追選考制度では、令和 7 年度学力検査の結果及び本校に提出された調査書（成績証明書）を利用して選考を行います。

【明石高専における追選考の内容】

学力検査5科目（理科、英語、数学、国語、社会）の結果及び調査書（1年生から3年生の成績）による総合評価により選考します。

科目等	理科	英語	数学	国語	社会	調査書	合計
配点	100	150	150	100	100	270	870

【奈良高専における追選考の内容】

学力検査4科目（理科、英語、数学、国語）の結果及び調査書（2年生と3年生の成績）による総合評価により選考します。

教科等	理科	英語	数学	国語	調査書	合計
配点	125	125	125	125	240	740

※調査書点の内訳：

国語・社会・数学・理科・英語 各20点満点×5=100点満点

音楽・美術・保体・技家 各35点満点×4=140点満点

調査書の換算点については、以下を参照ください。

<https://www.nara-k.ac.jp/admission/gakuseibosyuyoukouR7.pdf>

【和歌山高専における追選考の内容】

学力検査4教科（理科、英語、数学、国語）の結果及び調査書（評定のみではなく、調査書に記載された各項目を総合的に評価）による総合評価により選考します。

教科等	理科	英語	数学	国語	調査書	合計
配点	100	100	100	100	100	500

(4)合格者の発表

合格者の受験番号を提携高専のホームページに掲載します。詳細については、提携高専のホームページを確認してください。

(5)「追加合格」となった場合の取り扱い

提携高専における追選考により合格となった場合においても、当初受験した高専での「追加合格」に合格となった場合は、当初受験した高専の募集要項に記載されている内容に従ってください。

舞鶴高専では、本校の学力検査選抜に合格とならなかったものが、提携高専における追選考により合格となった場合においても、その後に発表される前記「11.追加合格」により合格となった場合は、当該追加合格を優先します。

13. 入試成績の開示請求

学力検査選抜では受験者本人からの申請に基づき、入試成績の開示請求を行うことができます。その手続き等詳細については、ホームページ(<https://www.maizuru-ct.ac.jp>)を参照してください。

14. その他

- (1) 受験に際しての注意事項は、WEB出願サイト登録時のメールアドレス宛にメールにてお送りしますので、必ず確認をしておいてください。事前に「mirai-compass@e-shiharai.net」からのメールを受信できるように迷惑メール等の設定を確認しておいてください。令和7年1月31日(金)を過ぎてもメールが届かない場合は、本校学生課教務係に問い合わせてください。
- (2) 社会の学力検査終了後に5分程度のアンケートを行います。なお、アンケートは合否判定には一切影響ありません。
- (3) 出願のため入力された情報、提出された調査書等に記載されている情報及び入学者選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜(12.に定める追選考を含む)の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。
 - ① 入学後の教育・指導
 - ② 入学料・授業料の免除申請審査
 - ③ 奨学金申請の審査
 - ④ 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
 - ⑤ 本校の後援会・同窓会活動
- (4) 受験のための宿泊施設は、各自で確保してください。
- (5) 不明な点については、本校学生課教務係に問い合わせてください。
- (6) 学校案内については、ホームページ(<https://www.maizuru-ct.ac.jp>)を参照してください。

15. 学力検査選抜受験会場の案内図

舞鶴会場案内図

(裏表紙参照)

京都会場案内図

京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス 6号館

京都市左京区松ヶ崎橋上町1番町

地下鉄松ヶ崎駅下車，徒歩8分



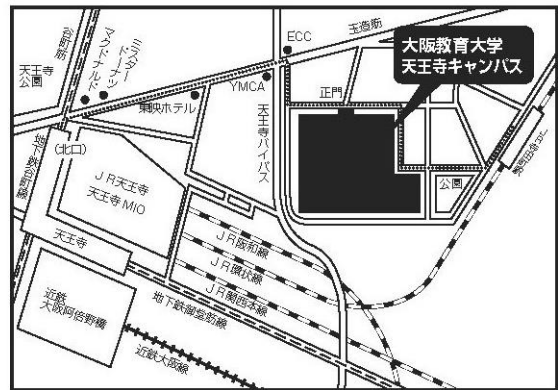
大阪会場案内図

大阪教育大学 天王寺キャンパス

大阪府大阪市天王寺区南河堀町4-88

JR，地下鉄天王寺駅，近鉄大阪阿部野橋駅下車
徒歩10分

JR 寺田駅下車徒歩5分



帰国生徒特別選抜

1. 出願資格

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等に伴って外国において教育を受けた者（海外の中学校に相当する課程に通算して2年以上在籍した者で、令和5年3月以降の帰国者）で次のいずれかの条件を満たす者

- (1) 中学校を卒業した者（令和7年3月までに卒業見込みの者を含む。）
- (2) 義務教育学校を卒業した者（令和7年3月までに卒業見込みの者を含む。）
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了した者（令和7年3月までに修了見込みの者を含む。）
- (4) 文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者（令和7年3月までに修了見込みの者を含む。）
- (5) 外国において学校教育における9年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を卒業（修了）した者（令和7年3月までに卒業見込み（修了見込み）の者を含む。）
- (6) その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2. 出願受付

- (1) 出願情報入力期間

令和7年1月6日（月）から1月24日（金）午後4時までです。

- (2) 出願書類提出期間

令和7年1月20日（月）から1月24日（金）までです。郵送の場合も令和7年1月24日（金）までに必着のこと。受付時間は、受付期間中の午前9時から午後4時までです。

- (3) 出願書類受付場所

舞鶴工業高等専門学校 学生課教務係
〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地

3. 出願手続

出願手続きは、WEB出願サイトにて行う「出願情報入力」と写真票等の必要書類を本校へ提出する「出願書類提出」で完了となります。

- (1) 出願情報入力

本校ホームページからWEB出願サイトへアクセスし、本冊子8ページ「WEB出願の流れ」を参考に、入学検定料16,500円を納付の上、出願してください。

- (2) 出願書類提出

志願者は、次の書類をとりまとめ、必ずWEB出願サイトマイページから出力される宛名票を貼り付けた封筒（角2号）に入れて、本校学生課教務係に提出してください。郵送の場合は必ず簡易書留郵便としてください。

1	写 真 票	WEB 出願サイトマイページから「受験票・写真票」を印刷し、「写真票」のみ切り離したもの。顔写真データをアップロードしていない場合は、上半身脱帽正面向きで、出願3か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm）を貼り付けてください。
2	調 査 書 (成績証明書)	本校所定の様式により、在籍する中学校等の校長が作成したもの。 海外の現地校等を卒業した者及び卒業見込みの者で本校所定の調査書の作成が困難な場合、当該学校等が発行した成績証明書及び卒業（修了）証明書又は同見込み証明書を封筒に厳封し提出してください。なお、成績証明書を提出する場合の各教科の評定は、100点法に換算したものを記載してください。不可能な場合は、100点法との対応表を添付してください。 ※ 海外の現地校等が作成する書類が日本語以外の場合には、日本語訳を添付してください。
3	海外在住状況 説明書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
4	そ の 他	外国籍を有する者は、市区町村長発行の外国人登録証明書（在留資格が明示されたもの）又は在留カードの写し（表・裏）等を提出してください。

※ **帰国生徒特別選抜用の出願書類は添付していません。入学を志願する者は、令和6年11月29日（金）までに必ず本校学生課教務係まで照会してください。出願資格等を確認した上で出願書類を送付いたします。（事前に照会のない者は出願できませんのでご注意ください。）**

4. 出願時の注意事項

- (1) 志望学科は、第1志望に限ります。
- (2) 出願後は、いかなる事情があっても入力事項の変更は認めません。ただし、現住所に変更があった場合は、その旨を本校学生課教務係まで連絡してください。
- (3) 出願書類の記載事項に不備があるものは、受験を許可しない場合があります。
- (4) 出願書類に不正の記載があったときは、入学後においても入学を取り消すことがあります。

5. 障害等のある志願者の事前相談

受験において合理的配慮を必要とする志願者は、事前に本校学生課教務係に相談してください。なお、内容によっては対応に時間を要することもあるので、出願前の早い時期に申し出てください。

合理的配慮に関する相談及び問い合わせ内容は、可否判定には一切影響ありません。

相談窓口 舞鶴工業高等専門学校学生課教務係
電話番号 0773-62-8881 FAX 0773-62-8889
MAIL kyoumu@maizuru-ct.ac.jp

6. 受験票

WEB 出願サイトマイページから「受験票・写真票」を印刷し、「写真票」と切り離してください。受験票は試験当日に持参いただきますので、大切に保管してください。

7. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査（理科，英語，数学），作文，面接及び調査書（成績証明書）の内容の総合判定により行います。

(1) 検査方法及び配点

学力検査は筆答試験（マークシート方式）とし、出題する教科は**理科・英語・数学**の3教科です。

教科等	理科	英語	数学	作文	面接・調査書	合計
配点	100	150	150	100	200	700

(2) 実施日時：令和7年2月9日（日）

教科等	理科	英語	数学	作文	面接
実施時間	9:30～10:20	10:40～11:30	11:50～12:40	13:30～14:20	14:40～

※ 午前9時までに検査室に集合してください。

(3) 受験会場

舞鶴工業高等専門学校（京都府舞鶴市字白屋 234 番地）

8. 合格者発表

令和7年2月13日（木）午前10時に本校の掲示板に合格者の受験番号を発表するとともに、午前11時に本校ホームページ（<https://www.maizuru-ct.ac.jp>）にも合格者の受験番号を発表します。（電話等による問い合わせには応じられません。）

正式には、本人あてに選考結果の通知文書を送ります。

9. 入学確約

合格通知を受け、本校への入学を希望する場合は、本校が指定する日までに、WEBで入学確約の入力を行ってください。

期限までにWEBでの入力が未入力の者は、入学の意志がないものとみなし、合格を取り消します。

※入学確約のWEB入力期限については、令和6年9月頃に本校ホームページ（<https://www.maizuru-ct.ac.jp>）にてお知らせします。

10. 入学説明会

合格者に対して**令和7年3月2日（日）**に入学説明会及び入学手続きを行います。詳細については、合格通知書を送付する際にお知らせします。やむを得ない事情がある場合を除き、本人及び保護者の方は必ず出席してください。

11. その他

(1) 受験に際しての注意事項は、WEB出願サイト登録時のメールアドレス宛にメールにてお送りしますので、必ず確認をしておいてください。事前に「mirai-compass@e-shiharai.net」からのメールを受信できるように迷惑メール等の設定を確認しておいてください。令和7年1月31日（金）を過ぎてもメールが届かない場合は、本校学生課教務係に問い合わせてください。

(2) 面接終了後に5分程度のアンケートを行います。なお、アンケートは合否判定には一切影響ありま

せん。

- (3) 出願のため入力された情報、提出された調査書等に記載されている情報及び入学者選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。
- ① 入学後の教育・指導
 - ② 入学料・授業料の免除申請審査
 - ③ 奨学金申請の審査
 - ④ 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
 - ⑤ 本校の後援会・同窓会活動
- (4) 受験のための宿泊施設は、各自で確保してください。
- (5) 不明な点については、本校学生課教務係にお問い合わせください。
- (6) 学校案内については、ホームページ (<https://www.maizuru-ct.ac.jp>) を参照してください。

令和7年度入学者選抜における配慮事項等について

1. 調査書等

新型コロナウイルス感染症の影響により、中学校等における臨時休業や大会、資格・検定試験の中止等で、特別活動の記録等、記載できない場合は、その理由を付したうえで、当初参加を予定していた大会名や資格・検定試験名等を記載すること（例：「〇〇〇に参加予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。」）。

2. 追試験

新型コロナウイルス等の感染症等を理由として、各選抜の本試験を受験できなかった場合の対応として、各選抜本試験の試験日の2週間後（地域創生型は3週間後）に追試験を実施します。なお、追試験は舞鶴会場（舞鶴工業高等専門学校）で実施します。

	特別選抜	
	〔地域創生型〕	〔一般推薦型〕
本試験の試験日	令和6年12月21日（土）	令和7年1月11日（土）
追試験の試験日	令和7年1月11日（土）	令和7年1月25日（土）

※〔地域創生型〕の追試験受験者は、令和7年1月11日（土）に「一般面接」、 「地域面接」に加えて〔一般推薦型〕の「適性検査」も受験していただきます。

	学力検査選抜	帰国生徒特別選抜
本試験の試験日	令和7年2月9日（日）	
追試験の試験日	令和7年2月23日（日）	

追試験の対象者は、次のとおりとします。

- (ア) 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。）第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者
 - (イ) その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、本校の校長がその申請を認めた者
- ※（ア）に示す本試験を受験できない事由は、中学校等の長又は医療機関による証明等により、校長が確認するものとする。
- ※（ア）に示す本試験を受験できない事由を認める期間については、施行規則第十九条に定める出席停止の期間の基準を原則とする。

詳細については、本校学生課教務係までお問い合わせください。

舞鶴工業高等専門学校 入学案内

1. 沿革概要

- 昭和 40 年 4 月 1 日 国立学校設置法の一部を改正する法律が公布され、機械工学科 2 学級及び電気工学科 1 学級を置く舞鶴工業高等専門学校を設置
- 昭和 40 年 4 月 26 日 開校式ならびに第 1 回入学式を挙行
- 昭和 45 年 4 月 1 日 土木工学科 1 学級を増設
- 平成 2 年 4 月 1 日 機械工学科 2 学級を機械工学科 1 学級、電子制御工学科 1 学級に改組
- 平成 6 年 4 月 1 日 土木工学科を建設システム工学科に改組
- 平成 12 年 4 月 1 日 専攻科(電気・制御システム工学専攻、建設・生産システム工学専攻)を設置
- 平成 12 年 4 月 7 日 第 1 回専攻科入学式を挙行
- 平成 16 年 4 月 1 日 電気工学科を電気情報工学科に名称変更
- 平成 16 年 4 月 1 日 独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する高等専門学校となる
- 平成 18 年 4 月 1 日 建設システム工学科に都市環境コースと建築コースを導入した
- 平成 27 年 4 月 1 日 専攻科を総合システム工学専攻 3 コース（電気電子システム工学コース、機械制御システム工学コース、建設工学コース）に改編

2. 教育理念と目的, 教育方針

〈教育理念〉

広く工学の基礎と教養を身につけ、問題発見・解決能力、創造力を有し、地域・社会の発展に寄与できる国際感覚豊かな実践的開発型技術者を育成する。

〈目的〉

(舞鶴工業高等専門学校の目的)

舞鶴工業高等専門学校は、教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）及び学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に基づいて、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とし、その目的を実現するための教育を行いその成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。

(準学士課程の目的)

準学士課程は、専門分野の基礎知識を修得し、社会の変化やニーズに対応した製品やシステムをつくり出す能力と、豊かな人間性・国際性を兼ね備えた実践的・創造的技術者を育成することを目的とする。

〈教育方針〉

- I 実験・実習、演習、ものづくりを重視する
- II 基礎に立ち返って考えさせる
- III 自ら学ぼうとする意欲を育てる
- IV 豊かな教養と国際性を育む

3. 学科の紹介

■ 機械工学科

本学科は、乗り物、電化製品、エネルギー等のあらゆる産業の基幹となる機械工学分野において、単なる「ものづくり」だけではなく、自然と調和のとれた高度の技術開発に貢献できる技術者の育成を目指しています。

- ① 系統化されたカリキュラムにより、自動車技術に見られるような機械工学の基礎から先端的機械技術に至るまでの幅広い分野の学習をします。
- ② 総合的な判断力や分析能力を高めるため、実験、実習、製図等の実践的科目を各学年に積極的に導入しています。
- ③ 材料、流体、熱、振動等に関する授業を通して、問題の解決、装置の設計・開発に必要な能力を養います。

■ 電気情報工学科

本学科は、電気・電子・情報・通信の4分野を柱とする教育プログラムにより、将来の技術革新にも柔軟に対応できる能力をもつ技術者の育成を行っています。

- ① パワーエレクトロニクス・AIなどの先端技術や、IoT・量子コンピュータなどの融合技術にも対応できるように、4分野の基盤技術を重点的に学習します。
- ② 4分野すべての実験・実習を幅広く複合的に行い、講義で学んだことを体験として確かめることができます。
- ③ 卒業研究・工学基礎研究により、4分野の知識を連携させる能力や、実践的な創造力・発想力を養います。

■ 電子制御工学科

本学科は、私たちの身の回りにある家電製品、自動車、ロボット等といった様々な「モノ」に機能を与え、高性能化、知能化を実現するメカトロニクス技術者を育成します。

- ① メカトロニクス分野（機械、電気電子、情報、計測制御の4分野）の専門科目を基礎から応用までバランスよく学ぶカリキュラムとなっています。
- ② 機械工作、回路製作、CAD、プログラミングといった実習科目や、機械、電気電子、計測制御分野の実験科目を通じ、講義内容を実体験により確認することができます。
- ③ 各学年に問題解決型学習（PBL）の科目が配置されています。そこでは、各チーム内で互いに協力して機械設計、回路設計、制御系設計、プログラミング等を行い、ロボットをひとつの題材にして創造性豊かな技術者を育成します。

■ 建設システム工学科

本学科は、“都市環境コース（土木コース）”と“建築コース”のコース制が採用されています。

都市環境コース：道路、橋梁、トンネル、河川、上下水道、パイプライン、地下開発などの社会基盤の建設や維持管理および都市の防災、地球環境の保全について学びます。

建築コース：建物や住宅の計画・設計・施工や都市環境の創造、建物の防災について学びます。

- ① 3年次までは共通授業で両コースの基礎を学び、4年次からコースに分かれてそれぞれの専

門知識や技術を修得します。

- ② 両コースとも基礎学力の徹底修得と実験実習を重視し、地域社会に貢献できる都市環境技術者および建築技術者を育成します。

4. 修業年限及び授業

- (1) 修業年限 5 年の学年制です。
(2) 授 業 1 年を前期・後期に分け、授業を行う期間は 35 週にわたることを原則とします。学校週 5 日制を実施しています。

5. 課外活動

学生の大半が寮生活をしていることもあって、クラブ活動は盛んに行われています。

文化系クラブでは各種コンテスト出場や演奏会の開催、体育系クラブでは各種の競技会に出場するほか、近畿地区や全国の高専体育大会に出場しています。

【クラブ】 陸上競技, バスケットボール, バレーボール, ソフトテニス, 卓球, 柔道, 剣道, サッカー, 硬式野球, ハンドボール, バドミントン, 水泳, テニス, 弓道, 空手道, フリークライミング, 自動車, アマチュア無線, 吹奏楽, プログラマーズコミュニティ, 創造技術研究会, 華道, デザコン, 軽音楽, HANDMADE

【同好会】 文学研究会

6. 学寮

- (1) 教育施設の一環として学寮（男子寮・女子寮）を設けています。
(2) 入寮を希望する者は、選考により入寮できます。ただし、通学に要する時間が 1 時間半以内の者は、入寮選考の対象外となることがあります。
(3) 寮室は 1 室 1~2 名となっており、ベッド（寝具を除く）、机、椅子が備えつけられています。

7. 施設概要

校地面積 121,976 m²

校舎, 図書館, 情報科学センター, 地域共同テクノセンター, 実習工場, 実験実習地, 福利厚生施設（青葉会館）, 合宿研修所, 第 1 体育館, 第 2 体育館, トレーニングセンター, 武道場, クラブハウス, 陸上競技場（400mトラック）, 野球場, 第 2 グラウンド, テニスコート（4 面）, プール（25m）, 学寮

8. 必要経費

(令和6年4月現在)

費目	入学時	年間	備考
入学料	84,600円		
授業料		234,600円	前期(5月)・後期(10月)に分納
教科書	約42,000円		学科によって若干異なる
教材	約43,000円		体操服・水着なども含む
研修旅行積立金		32,000円	前期(4月)・後期(10月)に分納
学生会費	2,500円	6,000円	前期(4月)・後期(10月)に分納
諸経費	10,000円	24,500円	前期(4月)・後期(10月)に分納
計	約182,100円	297,100円	

※ 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

※ 高等学校等就学支援金受給者の授業料納付額は、年間授業料から就学支援金支給額(118,800円～234,600円)を差し引いた額です。

【学寮経費】

(令和6年4月現在)

費目	月額	備考
寄宿料	700円	前期(4月)・後期(10月)に6か月分納入
食費	30,000円	30日分喫食の場合(1日1,000円)
食堂運営費	9,000円	30日分喫食の場合(1日300円)
学寮諸経費	12,200円	前期(4月)・後期(10月)に6か月分納入
寮生会費	200円	前期(4月)・後期(10月)に6か月分納入
計	52,100円	

※ 学寮諸経費とは、水道光熱費、エアコン経費、洗濯・乾燥機リース料、ごみ処理費、共用消耗品購入費、インターネット設備費など、寮生の日常生活に必要な費用です。

9. 入学料・授業料の免除及び奨学金制度について

入学料・授業料の免除及び奨学金制度は、以下のような制度があります。詳細は担当係まで問い合わせてください。

- ・国立高等専門学校機構の制度による入学料・授業料の免除
- ・高等教育の修学支援新制度による入学料・授業料免除
- ・日本学生支援機構給付・貸与奨学金
- ・その他の奨学制度

(担当係) 学生課学生支援係 電話 0773-62-8882

